

クマに注意！

宮城県には様々な野生鳥獣が生息しております。その中でも、ツキ/ワグマは最大のほ乳類であり、ツキ/ワグマが生活していることは、自然環境の豊かさの現れです。

ツキ/ワグマは普段はとてもおとなしい動物ですが、最近では、県内外問わず、不幸な事故が多発していることから、山に入る際などは注意をしましょう！



ツキ/ワグマの特徴

体 長:100~160 cm 体 重:50~130 kg
聴力・嗅覚:非常によい 走る速度:人間よりずっと速い
運動能力:水泳・木登りが得意
食 物:フナの実・ドングリ類、木の実、山菜、昆虫
生 態:

冬期間冬眠を行い、雪解け頃目覚めて、活動を始める。
その行動圏は40K m²(通常オスの場合)と言われているが、食べ物の豊凶により異なる。通常3~4歳で繁殖可能となり、1~3匹の子グマを産む。子グマは2年ほどは母グマと一緒に行動する。活動時間帯は朝夕、薄暮時

クマに出会わないために

- ・鈴やラジオで音を鳴らす、大声でしゃべりながら歩く
- ・できるだけ複数人で行動！
- ・朝夕や天気が悪く薄暗い日は特に注意！
- ・生ごみ等は放置せず持ち帰る

クマに会ってしまったら

- ① 遠くにいるクマならそっと立ち去る
- ② 近い場合は、騒がず、クマに背中を見せずにゆっくりと後退
- ③ 子グマに近づかない！
(母グマが近くにいます。)

クマが攻撃してきたら

- ① 抵抗しない
腹這いになり、両手で首の後ろをガードします。ザックを背負っていれば背中も守られ、一番大事な頭部や首部が守られます。
- ② クマ撃退スプレーを使用する